

Seiji Fujishiro
Report

鏡と水の演出によって、一つの作品となる。影絵は、いくつも写しだされ、奥行きを持ち、水に揺らされ、幻想的な雰囲気を増す

あふれる躍動感とスケールは 展覧会ならではの魅力

美術館に入り、ネコやカモなどが覗くはりまや橋を渡ると、土佐犬、クジラ、カツオが描かれた影絵と、藤城氏が分身と語る「こびと」が迎えてくれる。

暗い会場内では、光と影で作られた作品が浮かび上がり、日常とは離れた、ファンタジックな世界が広がる。動物たちは、今にも動き出しそうで、楽器からは心躍る音が聞こえてきそう。そのエネルギーは、生きる喜びや

幸せをくれる。また、藤城氏の作品に対する思いも添えられ、まるで本人に案内してもらっているようだ。見応えのある大作に魅せられ、口コミでの来場者やリピーターも多いのだとか。

印刷物や映像とは異なる展覧会ならではの作品の表情は、ぜひ実際に見て感じてほしい。その際は、藤城ワールドを堪能できるよう時間に余裕を持って来場を。

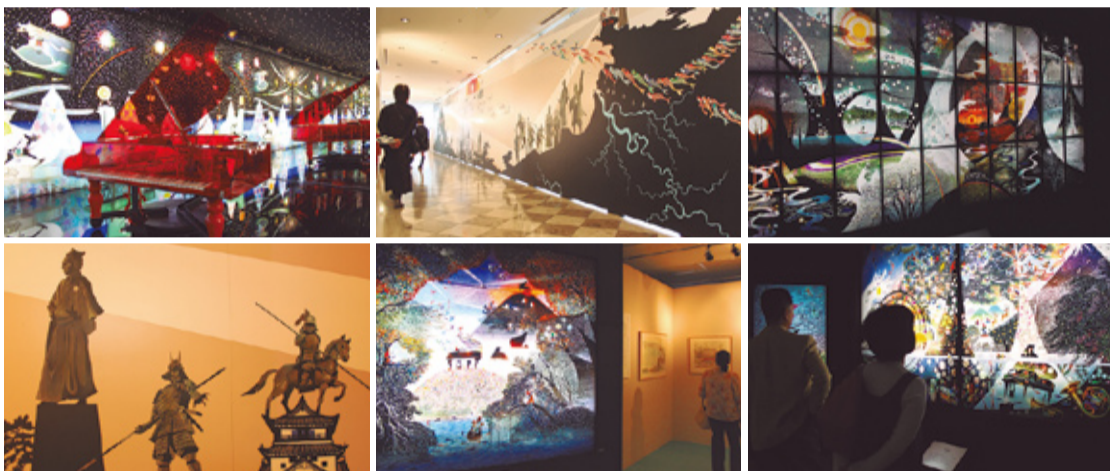
Pick up; Museum

藤城清治の世界展 光と影のファンタジー

information

藤城清治の世界展 光と影のファンタジー
高知県立美術館 高知県高知市高須353-2 6月13日(日)まで
入場料/大人 1,200円、高校・大学生 900円、小・中学生 500円
主催/高知新聞社・RKC高知放送
お問い合わせ/高知新聞企業 事業企画部 TEL 088-825-4328

油絵、モノクローム、カラフルな影絵、高知オリジナル作品など200点あまりが並び、藤城氏の長きにわたる制作活動の歴史を見ることが出来る。現実の世界から動物、こびとも出演し、子供から大人まで幅広い年齢層の人が楽しめる



Interview

高橋さよ=取材
河上展儀=写真

Miho Kanno

菅野美穂

冷静ではいられない…でも、それが恋する情熱
苦しくても、恋が女性をキレイに…元気にしてくれる

「濃いボスターカラーのよ
うな表現と、淡い水彩画の
ような表現の両方を持って
らっしゃいますよね」

西原理恵子作品について
そう語るのには、映画『パーマ
メント野ばら』でまさに水
彩画のような透明感のある
演技をみせてくれる菅野美穂
さん。本作品は宿毛市・土佐
清水市をロケ地に撮影。海
辺の町の素朴な景色のな
か、強烈なキャラクターたち
が繰り広げる笑えて切ない
恋物語。そこには女性だけ
が知っている【女の性】が描
かれている。

「映画のなかのように女

性が集まってあけすけにお
しゃべりしているところって、
男性は見たことないだろう
し、見たくない部分かもし
れませんが、でも、女性には
純粋な面とやんちゃな面が
あって、この映画はそのどち
らかだけを美化することな
く、両方を正々堂々と描いて
います。だから、女性はもち
ろん、草食系男子にも見て
もらい女性という生き物を
学んでもらえたら(笑)」

映画のなかの女性たち
は、老いも若きも一生懸命に
恋をしている。決して素晴
らしいとはいえない恋ばかり
だが、女性達はみんないき

きと映る。

「みんな肝が据わっていて
たくましいのに、自分の恋愛
になると冷静さを保てなく
て…でも、それが情熱であ
り、『恋』なんだと思うんで
す。どの世代でも恋をする
ときは、もがいて、のたうち
回ってる。でも、恋が女性を
キレイに、そして元気にする
のも真実なんですよね」

女性としてさまざまな経
験を重ねた人ほど共感でき
るこの映画。みっともなく
おかし恋物語と、そこに隠
された切ない真実。それで
も恋をしなくなる余韻が残
るから不思議。

から不思議。

「パーマメント野ばら」TOHOシネマズ 高知にて絶賛上映中!
娘を連れて出戻ったなおこ(菅野美穂)とその母・まさこ(夏木マリ)が切り
盛りする町に一つの美容室「パーマメント野ばら」。町の女性たちは日々店
に集っては恋にまつわるおしゃべりに興じていた。一方、なおこは高校教師
のカシマ(江口洋介)と恋をしているが、その恋にはある切ない真実が…。
原作:西原理恵子 監督:吉田大八
出演:菅野美穂、小池栄子、池脇千鶴、宇崎竜童、江口洋介ほか

菅野美穂
「イグアナの娘」「働きマン」など数々の
ヒットドラマに主演し、個性的な役どころ
も確固たる演技力で体現。2002年公
開の北野武監督作品「Dolls」以来、8
年ぶりの主演映画として本作品に出
演。1977年埼玉県生まれ。

